



園だより

2017年12月 取手幼稚園

12月になりました。今年もあと少しで終わりですね。1年の終わりにクリスマスが来ます。クリスマスって「希望」です。子どもたちが取り組んでいるクリスマス・ページントは、その「希望」を表現します。来るべき新しい年がこんな年であってほしい…、誰にでもこういう願いがあります。その願いがかなうために、せいっぱいに生きていく、それが「イエスの誕生」に出会った人たちに与えられた「希望」だったと思います。その「希望」を子どもたちが、それこそ「せいっぱいに」演じます。クリスマス・ページントでのお子様の姿に、「希望」を感じてください。

《園長 小林祥人》

年間の主題『愛されて育つ』

12月のねらい 《うれしい》

〈指導のねらい〉

ばらぐみ	① クリスマスの出来事に関心を持ち、イエス様の誕生を喜びながら表現する ② 2学期の終わりや年末年始の行事、冬休みの過ごし方を知り期待をもつ
すみれぐみ	① クリスマスの意味を知り、ページントに参加する ② 年末年始の慣習や行事を知り、楽しみに待つ
たんぽぽぐみ	① 他学年の友達との遊びや活動に喜んで参加する ② クリスマスを楽しみに待つ ③ 2学期の終わりを知り、自分たちの成長を感じる

《アドヴェント》の時期に入りました。

教会では、クリスマス前の4週間を「アドヴェント（『近づいてくる』という意味）」と呼んで、毎週一本ずつろうそくに点灯し、嬉しい知らせを待ち望む期間としています。幼稚園でもそのことを覚え、今週から子どもたちと共にクリスマスの飾り付けをしたり、アドベントカレンダーを1枚ずつ開けたりしながらクリスマスまでの日々を過ごします。



クラスみにみに通信

《ばらぐみ》

寒さに負けず、お外で沢山体を動かして遊べるように、ドッチボールやマラソン、へびジャンケン、だるまさんがころんだなどに誘っています。「お部屋で遊びたいな～」と言っていた子どもも遊び始めると楽しくなり、上着がなくてもへっちゃらになります！ お外遊びが大好きな子ども達です。幼稚園がお休みの日でもぜひお外で遊ぶ時間も設けておうちの方も一緒に寒さを吹き飛ばしてしましましょう！ また、ヒヤシンスの水栽培を始めたり、チューリップの球根も植えました。毎日、お当番さんがお水替え、水やりをしています。「今日はどのくらい大きくなったかな？」と興味深く見えています。 クリスマスが近づいてきました。イエス様が生まれた時の話をじっくり聞いて役決めをしました。讚美歌も少しずつ練習を始めていて、とても楽しそうに歌を覚えています。聖誕劇はお友だちと心をつにし、精一杯頑張りますので温かく見守っててください。

《すみれぐみ》

作品展へのご参加、ありがとうございました。自分が作ったものをお家の方に見て頂いたり、一緒に製作をしたり、子ども達にとって嬉しくて楽しい、笑顔ぴかぴかの日でした。その後、描画などは順次片付けましたが、粘土の作品はまだしばらく飾っておきたい！ということで、最近までそのままでした（みんな、とても気に入っていました！）。

今、園庭の遊具に次々トライしているところです。一人ひとりが自分で設定した内容をクリアするよう頑張っていて、繰り返し挑戦し、はじめは出来なかったのに出来るようになった！ということも増えてきました。お子さんに聞いてみて、機会があったら見てあげてくださいね！ また、まもなくアドヴェントに入り、聖誕劇の練習も始まります。みんなで、イエスさまのお誕生を喜びながら、進めていけたらいいなと思っています。

《たんぼぼぐみ》

11月は“友達と一緒に・友達を意識して“ということを中心掛けて過ごしてきました。友達の良い所やすごい所を探してマネできるような声をかけていくと色々な場面でそのような様子が見られるようになり、遊びでは誰かがプリン山のトンネルの上からジャンプできるようになると、自分もやってみようとする子がいたり、食事では誰かがお箸を使っていると自分も使ってみようとする子がいたり、苦手な野菜を頑張っている友達を見て自分も食べようとする子がいたり、友達から良い刺激を受けている事が感じられます。刺激を受けるのはクラスの友達だけではなく、すみれ組・ばら組の友達にも遊びの面で強い影響を受けていて、すみれ組の子が新聞紙でステッキを作っていれば自分も作ってみたいと言ったり、ばら組の友達がカルタをやっていたらそこへ混ざっている子がいたり、お兄さんお姉さんのやっている遊びが気になるようです。そのため(?) そのおかげで(?) そのせいで(?) 室内遊び中、たんぼぼ組のお部屋には誰もいなく私だけがポツンと一人取り残される事もしばしば……。少し寂しいのですが、遊びの幅が広がるチャンスだと思い、見守っています。

〈12月の予定〉

6日(水)	ありんこくらぶ ECCの日	21日(木)	クリスマス・ページェント
12日(火)	お誕生会	22日(金)	終業式 預かり保育・お楽しみ会
13日(水)	体操の日 ありんこくらぶ	25日(月)	個人面談
15日(金)	クリスマス予行練習(写真撮影)	年内	28日(木)まで
20日(水)	ありんこくらぶ	~1月8日(月)	冬休み・冬休み預かり保育 年始 1月4日(木)から

※22日(金) 17時より取手教会の「こどものためのクリスマス」があります。
是非、ご参加ください。詳細は後日お知らせいたします。
この日の1号認定児の預り保育は17時までとさせていただきます。

12月生まれのおともだち

22日 ☆☆☆☆☆☆☆くん(たんぽぽぐみ)

29日 ☆☆☆☆☆ちゃん(たんぽぽぐみ)

おたんじょうび おめでとう!



12月の聖句とさんびか

喜んで与える人を神は愛してくださるからです。
コリントの信徒への手紙Ⅱ 9章7節

♪かいばおけにすやすやと

かいばおけに すやすやと
ねむるみこは しゅ イエスさま
そらにひかるほしたちも
その たんじょうを いわいます



クリスマスページェント（聖誕劇）って？

取手幼稚園ではクリスマスのお祝いを全園児で行います。聖誕劇とはイエス・キリストのお誕生を劇にしたものです。イエス・キリストの誕生は不思議な夜の出来事として聖書の中で伝えられています。世界ではじめてのほんとうのクリスマスを知り、みんなで劇が作り上げられていきます。かみさまはこの世で最も弱く貧しいとされている人々のための救い主としてイエスさまを誕生させて下さいました。聖誕劇をとおして、世界中の様々な状況にいる人たちの事を覚え、クリスマスはプレゼントをもらうだけの日ではなく、あげることの大切さを考えてこの時期をすごしていきます。一人ひとりに無理や負担にならないように、なおかつ持っている力を出来るだけ引き出してあげたいという思いからページェントの台本や構成は毎年変えています。たいていの場合、物語には『主役』がいることになっていますが、聖誕劇の中でイエス・キリストの誕生を語る時、全ての登場人物がそれぞれに大切な役割を持っており、そのどれかを欠かすことはできません。『みんなが主役』です。今年のクリスマスもお家の方と一緒に迎えられるようお願いながら過ごしていきます。

クリスマスの不思議な出来事は絵本でも語り継がれています。

今月はクリスマスの絵本をいくつかご紹介します。ホールの絵本の棚にありますから是非一度ご覧になってくださいね。

《小林路津子》



おすすめのえほん 「ジョニーのクリスマス」

やまだうたこ

ジョニーのうちでは毎年親戚の人が集まってクリスマスパーティをします。ジョニーはたくさんプレゼントをもらうのですがどれも気に入らないものばかり…。ジョニーはおもしろくなくてプレゼントだけではなくママの作るお料理のことまで悪口を言ってしまうのです。ママはおこって「今年のクリスマスは中止にする」と親戚に電話をしてしまいました。サンタクロースも来ないかもしれないと心配しているジョニーにねこのガルドンは素敵な提案をします。それはジョニーがみんなにプレゼントをするというもの。「もらう」だけでなく「あげる」クリスマス。それはおおきな喜びになることを思わせてくれる一冊です。

※ ネット配信の「園だより」では、個人情報保護の観点から、一部の名前の表記を伏せ字(☆☆☆☆)とさせていただきます。